【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成24年9月20日(2012.9.20)

【公表番号】特表2005-539085(P2005-539085A)
【公表日】平成17年12月22日(2005.12.22)
【年通号数】公開・登録公報2005-050
【出願番号】特願2004-542250(P2004-542250)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ　41/03　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　43/13　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　65/28　(2006.01)
Ｃ０７Ｂ　61/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ　41/03
Ｃ０７Ｃ　43/13　Ｂ
Ｃ０８Ｇ　65/28
Ｃ０７Ｂ　61/00　３００

【誤訳訂正書】
【提出日】平成24年8月2日(2012.8.2)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１種のアルコキシレートの製造方法であって、少なくともエチレンオキシドを含有するアルキレンオキシド混合物と少なくとも１種の開始剤化合物とを、一般式Ｉ
【化１】

$$M^1_a[M^2(CN)_b(A)_c]_d \cdot fM^1_gX_n \cdot h(H_2O) \qquad (I)$$

［式中、
－　M^1はＺｎ$^{2+}$、
－　M^2はＣｏ$^{3+}$、
－　Ａ及びＸはカルボン酸アニオンであり、
－　ａ、ｂ、ｃ、ｄ、ｇ及びｎは、化合物（Ｉ）の電子中性度が保証されるように選択され、その際、ｃ＝０であってよく、
－　ｆは１であり、ｈは０より大きい分数又は整数もしくは０である］の少なくとも１種の二元金属シアン化物化合物の存在下に接触させる製造方法であって、導入時間の間に、まず反応器に不活性ガスを加え、そして引き続き少なくともエチレンオキシドを含有するアルキレンオキシド混合物を添加し、その際、エチレンオキシド分圧は不活性ガス分圧以下であり、かつ不活性ガス分圧とエチレンオキシド分圧からの合計が５．０バール～６．０バールであり、かつ開始剤化合物が、エチルヘキサノール、プロピルヘプタノール又はブチルオクタノールから選択されるゲルベアルコールであり、かつ二元金属シアン化物化合物を最終量の構造物、すなわち生成物に対して、３５ｐｐｍ以上で、かつ、１００ｐｐｍ又はそれ未満の量で使用することを特徴とする方法。
【請求項２】
全圧が反応の経過において１１バールより高く上昇しない、請求項１記載の方法。

【請求項３】
触媒として使用される二元金属シアン化物化合物が結晶質である、請求項１又は２記載の方法。
【請求項４】
アルキレンオキシド混合物が９９％より高いエチレンオキシドの割合を有する、請求項１から３までのいずれか１項記載の方法。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３６】
アルコキシ化のために使用される触媒濃度は、最終量の構造物に対して、典型的には２０００ｐｐｍ（即ち、生成物１ｋｇ当たりの触媒のｍｇ）未満、有利に１０００ｐｐｍ未満、例えば５００ｐｐｍ未満、殊に有利に１００ｐｍ未満、例えば５０ｐｐｍ又は３５ｐｐｍ、殊に有利に２５ｐｐｍ未満である。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３７】
有利な実施態様では、本発明は、二元金属シアン化物化合物を最終量の構造物に対して１００ｐｐｍ又はそれ未満の量で使用する方法に関する。